



開窯300年
マイセン
西洋磁器の誕生

2010年10月2日(土)~12月19日(日)
大倉集古館

財団法人 大倉文化財団 大倉集古館
OKURA MUSEUM OF ART
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3 TEL.03-3583-0781
(ホテルオークラ東京本館正面玄関前)
<http://www.shukokan.org>

卓上の夢 バロックとロココのはざままで

ヨーロッパで最初の磁器を誕生させたマイセン工房は1710年に創設され、後続のヨーロッパ各地の磁器窯の器形、文様、装飾技法を60年間リードしました。本展はマイセン工房創立300年にふさわしく、名品を最も多く輩出した初期の作品を中心に展示いたします。マイセン磁器が最も輝いた貴重な18世紀のオリジナル作品をご高覧ください。

マイセン陶器とは

東ドイツの古都、ドレスデンから車で30分ほどのエルベ河岸にマイセンという小さな町があります。ザクセン侯国のアウグスト強王によって、その古城アルブレヒトに幽閉された錬金術師ベトガーはヨーロッパで初めて磁器を成功させ、「マイセン磁器」が誕生しました。17世紀末からヨーロッパ各地で磁器製作が試されてきた中で、マイセンで磁器を完成できたのは、アウグスト強王の磁器への強い憧れと熱情からでした。

I 初期作品：J.G.ヘロルトの世界

揃いの文様が描かれた食器に慣れ親しんでいる私たちの生活。しかし18世紀初頭ヨーロッパで始めて完成した磁器には、一点一点異なる絵が緻密な筆致で描かれました。器を画布に見立てた絵付師は、戯画風の人物文の世界を広げていきます。それはヨーロッパ世界が想像する異国趣味あふれる桃源郷の世界へと見る人を誘いました。その後描かれる主題は、波止場の風景や、狩猟の場面、戦闘の場面などヨーロッパの身近な風景の描写に変化していきます。マイセン磁器の初期の作品はどれも見る人を飽きさせない珠玉の小品といえるでしょう。

II 東洋への憧れ

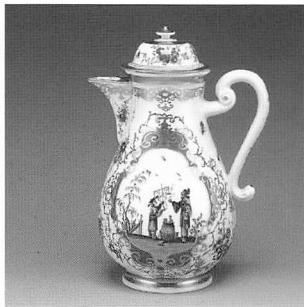
ルネッサンスの頃より、金銀と同等に扱われた貴重な東洋のやきものは、ヨーロッパの王侯貴族の憧れでした。硬く焼かれた透明感と清潔感あふれるブルーアンドホワイト(染付・青花)、そして五彩や柿右衛門の華やかな色彩の世界。それらはヨーロッパでは未知の世界から来た宝物だったのです。マイセン磁器の発明は、夢を現実の世界へ誘いました。東洋の小品を写すことから始まり、随所にヨーロッパの装飾を織り込んだ作品が新たに作られ始めます。器形をヨーロッパの生活に馴染ませ、文様も身近な意匠へと変化させていきました。本展ではその東洋と西洋、微妙な意匠のハーモニーをご覧下さい。

III フィギュア(磁器人形)は踊る

自由自在に形を表現できるやきものは、彫塑師にとって格好の題材です。天才の名をほしいままにしたマイセン工房の彫塑家J.グンドラーは、宴会の卓上の飾りに様々な人形像を誕生させました。本展では、16世紀から18世紀までヨーロッパ中の宮廷を魅了して回ったイタリアの劇団「コンメディア・デッラルテ」の代表的な登場人物を中心に展示します。にぎやかな舞台を髣髴とさせるフィギュアのしなやかな肢体は、見るものに宴席の話題を提供する恰好のオブジェであったでしょう。また貴族や宮廷女官たちの姿を生き活きと写した恋愛の一場面、羊飼いや農民の姿に仮装した楽しげな貴族たちを表した作品も並びます。

IV サービス：卓上の魅惑

18世紀になるとヨーロッパの王侯貴族の生活は大きく変化していきました。料理の供し方や食事の仕方にも変化が起こります。コーヒーや紅茶を飲む習慣が富裕層に広まっていったのもこの時代でした。銀器や銅などの金属製の食器が主であった世界に新たに磁器の世界が加わったのです。華やかな装飾に彩られた東洋のやきものは、以前から室内を飾る役目を担っていました。ヨーロッパで作られ始めた磁器は、食器としての役目も担い始めます。王侯貴族は競ってディナーサービスやデザートサービス、ティーサービスをお祝いの贈答用に、また新しい宮殿のために注文するのでした。



ホテルオークラ東京からのお知らせ

マイセン茶会席

ドイツ東部のマイセンで誕生した磁器。現在では名実ともに西洋磁器の頂点に君臨する名窯であるが、オーキッドルームでは1950年製の貴重なマイセンを使用し、開催期間中のご指定日に10名様限定でティー&ケーキをご提供いたします。是非この機会にマイセン磁器と優雅な気分をお楽しみください。
期間：10月2日(土)～12月19日(日) 但し、月曜日を除く。
(貸し切り宴会の為、土日・祝日の営業はご確認ください)
会場：欧風料理 オーキッドルーム 本館5階 時間：14:30～17:00
料金：マイセン茶会席付き鑑賞券
料金：お一人様4,000円(ティー&ケーキ、鑑賞券、サービス料、税金含む)
料金：1日限定10名様(ご予約も承ります)
チケット販売：大倉集古館受付
ご予約・お問い合わせ：大倉集古館 TEL (03) 3583-0781



※写真はイメージです

美食カレッジ「18世紀のマイセン磁器の魅力」

マイセンの歴史とその魅力を陶磁史研究家の松村真希子先生が詳しく紹介する美食カレッジ。ティー&ケーキで優雅な午後のひとときをお楽しみください。

講師：松村真希子(陶磁史研究家)

日程：10月28日(木)、12月2日(木) 2回開催

会場：欧風料理 オーキッドルーム 本館5階

時間：14:30～15:30 定員：各日30名様

料金：お一人様5,000円(ティー&ケーキ、鑑賞券、サービス料、税金含む)

ご予約・お問い合わせ：ホテルオークラ東京 営業企画部 企画課

TEL (03) 3505-6110 (月～金10:00～18:00 祝日を除く)



第2回 大倉集古館 ピアノの夕べ

当館展示室ならではのサロン風の空間で、昨年に引き続き菊地裕介氏の演奏をお聴き頂きます。マイセンの名品と共にピアノの典雅な調べをお楽しみください。予約が必要ですが、詳細はお問い合わせください。

ピアノ：菊地裕介

日時：11月6日(土) 17:30開場 18:00開演

場所：大倉集古館 1階展示室

曲目：モーツァルト、シューマンのピアノ作品(予定)

料金：2,000円(マイセン展もご覧頂けます)



主催：大倉集古館

協力：L'HOMME DE CHINE

(株)ホテルオークラ東京 大成建設(株) 特種東海製紙(株)

休館日：月曜日(10/11は開館)

開館時間：10:00～16:30(入館は16:00まで)

料金：一般1,000円 大学・高校生・65歳以上800円 中学生以下無料

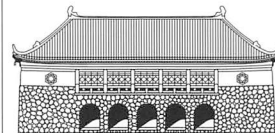
土・日曜は高校生以下の生徒と引率の両親・教師無料

20名様以上の団体は100円引

セット鑑賞券：喫茶券1,800円/食事券3,300円



交通案内
東京メトロ
南北線 六本木一丁目駅より5分
日比谷線 神谷町駅より7分
銀座線・南北線 溜池山王駅より8分
銀座線 虎ノ門駅より10分



財団法人 大倉文化財団

大倉集古館

OKURA MUSEUM OF ART

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3 TEL03-3583-0781

(ホテルオークラ東京本館正面玄関前)

ホームページ <http://www.shukokan.org>